

第40回全日本少年サッカー大会 岡山県大会準優勝 鏡野JFC

11月27日(日)第40回全日本少年サッカー大会岡山県大会の決勝などが岡山市北区のシティライオスタジアムで行われ、鏡野ジュニアフットボールクラブ(監督・植木聖(真加部)・選手・14名)が準優勝に輝きました。

この大会は、県内121チームが参加し、東部・西部・北部の各地域大会を勝ち抜いた16チームが出場し、優勝チームは全国大会への出場します。

鏡野ジュニアフットボールチームは、惜しくも優勝を逃しましたが、雨の中、保護者など関係者から大きな歓声や拍手を浴びながら熱戦を繰り広げました。



選手名

岡安 祐達(南小6年・布原)
小野 大輝(南小6年・真加部)
井上 結貴(南小6年・真加部)
植木 優斗(南小6年・真加部)
中西 陽音(南小6年・古川)
植木 歩(南小6年・真加部)
定久 心音(南小5年・古川)
福田 晋平(南小6年・古川)
杉山 広樹(南小6年・下原)
上山 圓人(南小5年・古川)
坂手 杏(南小5年・吉原)
納夢 空(南小5年・下原)
内田 聖也(津山市)
池田 秀斗(津山市)

鏡野いきいき生活体験宿

11月29日(火)～12月3日(土)、スポーツロッジ鏡野で「鏡野いきいき生活体験宿」を開催しました。この事業は、子ども達が集団生活を通じて「食事作り」「洗濯」「掃除」などを自ら経験するとともに、自立心や協調性などを育むことを目的としています。

南、大野、鶴喜小学校の児童24名が4泊5日の日程を修了しました。慣れない環境に戸惑いながらも家事に挑戦し、他校の児童とも交流を深めていました。また、期間中には美作大学から6名のボランティアスタッフの参加や、町栄養委員による食事作りなどもあり、児童にとって貴重な経験になったのではないのでしょうか。



参加した児童の感想を紹介します

自分だけの洗濯をするのはすぐだったけど、家族みんなの洗濯をしているお母さんはすごいなと思いました。
(大野小6年)

4泊5日を他の学校の人と協力しながら生活できました。苦労したこともあったけど、絆が深まり協力すれば何でもできるとわかりました。
(南小6年)

この生活で仲良くなった友達は中学校では一緒にいるので、楽しみです。
(鶴喜小5年)

